

2 令和7年度 県立奄美図書館基本的運営方針

【県立奄美図書館の目指す姿】

人づくりに貢献し、成長し続ける図書館 ～「知と知恵の拠点」を目指して～

【基本目標、重点施策及び事業等】

＜基本目標1＞ 資料の充実とデジタル化の推進

- 1 市町村立図書館等との役割分担を明確にし、県立の図書館として果たすべき役割を意識した効率的な資料の収集・整備に努めます。
- 2 県民の生涯学習や地域課題の解決を支援するため、利用者のニーズや鹿児島県の地域性、社会や時代の変化等に対応した資料の整備と活用を図ります。
- 3 県内各地に保存されている貴重な郷土資料について、県内歴史研究会等との情報共有を図るなど、より積極的な収集・研究に努めるとともに、貴重資料を保存するための空間確保及び資料の防災対策に取り組みます。
- 4 貴重資料紹介展をはじめとする郷土資料の展示やデジタルアーカイブ化により、閲覧及び活用の促進を図ります。

＜重点取組事項＞

- 図書館資料の計画的な整備
- 郷土資料の網羅的な収集
- 郷土資料のデジタル化

＜基本目標2＞ 市町村立図書館等との連携強化

- 1 両図書館がネットワークの中心となり、市町村立図書館をはじめとする県内図書館の蔵書の相互利用を活性化し、貸出文庫や相互貸借により他館の蔵書不足を補うなど、県内全域における図書館サービスの充実・拡大を推進します。
- 2 県内の市町村立図書館等に関する情報の積極的な収集に努め、ホームページを活用した情報の共有を図るとともに、各館の情報交流を推進します。
- 3 第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画のもと、生涯を通じて読書に親しめるよう、親子読書会や読書グループ等の活動促進を啓発するとともに、市町村立図書館（室）及び学校等の関係職員を対象とした研修の充実を図り、子どもの読書活動を推進します。
- 4 両図書館が所蔵する郷土に関する貴重資料等について、大学や他の機関と連携した資料調査やアーカイブに関する調査・研究に努めます。

＜重点取組事項＞

- 市町村立図書館（室）支援の充実
- ネットワークの構築
- 読書活動の推進

＜基本目標3＞ 個別最適なサービス機会の充実

- 1 県民や利用者の多様なニーズに対応した高水準のサービスを提供できるよう、レファレンスツールの充実を図るとともに、レファレンス記録を蓄積し、アクセシブルな公開方法により、県民への課題解決に向けた情報提供に努めます。
- 2 両図書館が実施している団体貸出等のサービスについて周知を拡大し、制度の利用促進を図ります。
- 3 来館することが困難な利用者に対して、貸出・返却の郵送サービスを提供するほか、鹿児島県読書バリアフリー計画に基づき、録音図書の貸出や大活字本コーナーの充実、拡大読書器の提供、アクセシブルな電子書籍の導入等の取組を確実に実践し、誰もが読書を楽しむことができる環境の整備に努めます。

＜重点取組事項＞

- 課題解決支援・学習支援の充実
- 利用者に対応したサービスの充実
- 視覚障害者等の読書環境の整備の推進

＜基本目標４＞ 人と情報の交流拠点機能の充実

- 1 県立の図書館としての役割と機能を県民にわかりやすく示しつつ，親しみやすい図書館として誰もが気軽に利用できるような雰囲気づくりに努めます。
- 2 両図書館が提供するサービスやイベント等に関する情報を，ホームページ・新聞・テレビ・ラジオ・SNS等の多様な媒体を効果的に活用し，より積極的な発信に努めます。
- 3 企画展や文学講座，講演会，生涯学習講座等の開催を通して，郷土鹿児島県の歴史や文化に対する県民の理解促進を図ります。
- 4 文化庁から国史跡「鹿児島城跡」として指定を受けた敷地にある県立図書館として，黎明館と連携しながら，所蔵する鹿児島城を含む郷土資料の更なる発信に努めます。
- 5 世界自然遺産に登録された奄美大島に位置する奄美図書館では，奄美群島の豊かな自然や文化・歴史に関する学びが深まるよう，所蔵する郷土資料の更なる発信に努めます。

＜重点取組事項＞

- 読書を媒体とした交流拠点機能の充実
- 情報発信力の強化
- 郷土の人・文化の理解と継承

＜基本目標５＞ 職員の資質向上

- 1 市町村立図書館等の図書館職員の資質や技能の向上を支援し，全県的な図書館サービスの充実を図ります。
- 2 県民や利用者の多様なニーズに対応した高水準のサービスを提供できるよう，図書館職員の接遇，電話対応，レファレンス対応能力などの資質・能力の向上に努めます。

＜重点取組事項＞

- 図書館職員の資質向上支援
- 読書活動推進人材の育成